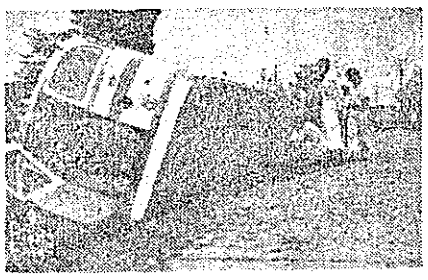
いつも危険にさらされている



交通事故の面からいうと、わたしたちが家を出たらいつも事故にさらされていると、いえよう。

自分が注意していても、思わぬ事故がふりかかることがある。しかし、原則として次のような原因があげられる。

▽他の車のすぐ前や後を注意せずに横切る。▽せまい道から広い道に出るとき、一度とまつて注意しなかつた。▽交さ点で右まがりをするときの方法が間違つている。手を上げないのもその一つ。▽酔つて自転車などに乗つたため。▽わきみをしながら車を走らせたため。▽ハンドルをいいかげんに持つていたため。▽道路の右側を通つたため。▽踏切でいつたんとまつて注意しなかつたため。▽スピードを出しすぎたため。▽ほかの車を追い越す方法が悪いため。▽よく乗れないのに道路で乗つたため。▽ブレーキのきかない車に乗つたため。▽信号を守らなかつたため。▽夜ライトをつけずに走らせたため。▽重すぎる荷物や、積み方が悪くて車が不安定だつたため。

写真は最近能間口で起つた土電バスの事故

高知空港から（1）

＝小山豊亮＝

四月一日より第二種空港高知飛行場が開港されて早半年になりました。もつとも開港（いはゆる正式空港として運輸大臣が告示する）になるまでに、すでに当時の極東航空会社が非公式に昭和二十九年十月より使用しその後日本ヘリコプター会社と合併し、全日本空輸株式会社となり、現在も引続き使用しています。その他多数の航空会社が、広告宣伝、地図作製に必要な航空写真撮影に、自衛隊の小型機、ヘリコプターの災害出動など、種々な用途のために使用されており、現在空港は無くてはならない存在となつています。

現在全国各府県殆んどが飛行場を設置しております。最近では、新潟県の佐渡ケ島、東京都の大島、八丈島（これらは既に使用中）。長崎県の五島列島の福江島（現在計画中）。鹿児島県の種ケ島（現に使用中）など、島々にまで競つて空港の建設が進んでおります。

これらの空港は人員の輸送のみならず、産業面での生花、鮮魚などの輸送は勿論郵便物などにも利用されており、今後益々航空機が利用される率は高くなつて行くものと思われます。

つぎに当空港を利用して居る定期輸送機を見ますと、全日本空輸株式会社の、DC3型三十一人乗、で前者は価格約五千万円、後者は約一億二千万円もします。

その他当空港を利用する飛行機は、中型機のピーチクラフト、三千万円、ヘリコプター、千五百万円、小型機では、セスナ、八百万円と相当高価なものです。

ちなみに現在までに当空港の設備に費された費用は約五千万円で、DC3一機分の価格に相当することを思えば、如何に航空機が高いかが判断されると思います。

つぎに利用客をみると、本年三月の乗客は千八百六十三名で降客は二千名、計三千八百六十三名と、今までに無い利用客がありました。

これらの利用客や航空機の安全をはかるため、空港では、その管理運営と航空の保安業務を行うための航空保安事務所が設置されております。

事務所は、総務、航務、通信無線、管制及施設の五課に分かれ、その他高知地方気象台の空港分室も設置されていて、日夜保安業務に従事していますが、定員の枠などの制約をうけ要員が不足の状態にあります。しかし漸次増員され、設備も逐次改善されることになつています。

以上は当空港の利用状況などですが、次に述べます事項についてはとくに市民の皆様に、協力をお願いしたいものです。

利用と禁止区域

一、みだりに飛行場内の禁止区域に立入らぬこと。

禁止区域とは、着陸帯（滑走路及芝生地帯）誘導路、エプロン（航空機が停留するところ）格納庫。

二、航空機に向つて物を投げること、またはその近くで喫煙すること、航空機に手を触れることも禁止されております。

以上、航空法第五三条の違反となり五万円以下の罰金に処せられます。

三、飛行場内の設備及航空保安施設を損傷したり、其の他の方法で航空機に危険を生じさせた場合。

これらは航空法第一三八条の違反となり、二年以上の有期懲役になります（未完）

高知航空保安事務所　航務課

扇風機の上手なしまい方

秋風や虫の音の訪れとともに、そろそろ扇風機とお別れするシーズンとなりました。

来年も扇風機を新品同様に使うための、上手なしまい方についてお話ししましょう。

○汚れをとること

ガード（桙ぶち）や羽根は簡単に取外しができますから、しまう前には一度取外して、附着しているゴミや油などをよく拭きとります。汚れをとるには石けん液（中性のもの）でよく拭き、次に水でよく石けん液を拭きとり、最後に乾いた布でもう一度拭きますと、新品同様きれいになります。最近の羽根は殆んどがプラスチック製ですこれはシンナー、石油などで拭かないようにして下さい。（変質します。）

○必ず注油を

注油口に良質の油（ミシン油でよい）を数滴さします。

首振り装置の部分はグリースがつめてありますがこれは二～三年に一度取替えれば首振りをスムースにし騒音を防ぎます。

○故障の有無を調べる

以上の手入が終りましたら、電気を通して、異常なく回転するかたしかめて下さい。

故障がなければスイッチを0に合わして包装にうつります。

○湿気のある場所はさけること

扇風機をビニール袋か包装紙で包み保管箱に入れます。保管場所は風通しのよい乾燥した場所を選びましょう。湿気の多い場所に置くと絶縁不良など故障の原因になることがあります。

○箱の上に重いものは載せないこと

箱の上の物体の重さで気づかぬうちに箱の形がくずれガードや羽根などを傷つけることがあります。

以上

獵銃や刀剣類の届け出は早く!!

みなさんのお家の土蔵や、物置などに、しまい忘れている鉄砲、空気銃、刀、やりなどはないでしょうか。このたび警察では、このような鉄砲や刀などを正しい方法でもつようによびかけています。

県下で昨年度中に、鉄砲や刀などを発見して警察に届け出た数は、四〇〇件でありましたが本年も六月末までに、二四〇件をかぞえています。

まだ県内には、相当数の鉄砲や刀などが、そのまま届けられず眠つているのではないかと思われます。

鉄砲や、刀類は、強盗などの凶悪な犯罪につかわれることが多く、危険なものでありまして、このようなものをかくして持つていると重い罰を受けます。

しかし今度の運動は、処罰を目的としたものでなく、みなさんに正しい方法で持つことができるようにするのが目的でありますので、いろいろなことを心配せず安心して、届け出てください。

届け出の方法としては、近くの警察署、駐在所などに発見品を持つて行きますと登録手続の方法などについて、気安く相談に応じてくれます。

畳を長もちさせる方法

畳を長もちさせるには、春秋二回、天気のよい日に屋外へもち出し、ホコリをたゝき出し、立てかけて風を通すとともに、裏側をよく日に当て、干すことである。ことに茶の間や、日のよく入らない部屋の畳は、長雨のつづいた後などは少しもち上げて風を通すとよい。畳の下に新聞紙をすき間なく敷くことは湿気を防ぎ、床下から風の吹きこむのを防ぎ、虫を防ぐことにもなる。

また畳は、時々きれいな雑巾で、よごれやカビをふき取ることも、長もちさせるのに役立つものです。

あちこち

西福寺平和の鐘

※

西福寺平和の鐘には、次のようなヨサコイ節ができている。

いうたちいかんちや
おらんくの寺にや
世界平和の鐘が鳴る
ヨサイヨサコイ

見たか聞いたか
西福寺鐘は
太平洋まで鳴り渡る
ヨサコイヨサコイ

お前や聞いたか
西福寺の鐘を
平和平和と鳴りひびく
ヨサコイヨサコイ

鐘の音色を
聞くたびごとに
臭生来いよのお呼び声
ヨサコイヨサコイ

後免西福寺の
平和の鐘は
日本一せよ見においで
ヨサコイヨサコイ

※

もとより船大工さんが一人か二人でやる近海用の小型船。

これに焼き玉エンジンを据え付けて土佐湾の〝幸〟を水揚げするわけで大きい期待がかけられている。

なおトン数はせいぜい二トンくらいまで。

※

食品にダニばやり。このごろ市内で買うものにも負けずおとらずダニがついている。

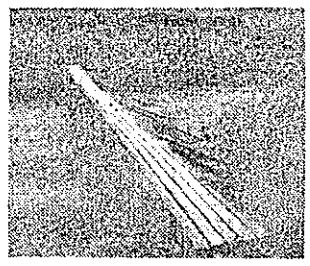
これはいまに限ったことではなくこれまで私たちは丸々ダニを食つていたわけだ。古くから「見んのがキレイだ」という言葉があるが、こんどのこともこれに通じる。

しかしこれは〝健康〟にかかわりあることだから油断がならず、メーカーも、お店も、もつと最善を期してもらいたいものだ。

なおよく売れる店、清潔な店で買うのがよさそうだ。

※

長岡地区西島の丹宮、ことを流れる国府川にはごらんのような橋がある。北岸の耕地を結ぶ農道橋だからいわば生命線。穴内川電源開発で国府川の水がふえるため、地元では開発当局にコンクリート橋にしてほしいといつている。なお今年度中に、この付近の護岸工事が完成する。



※

市内中部地帯の家々を囲む防風林は、ちよつとした偉観だ。スギ、ツバキカシなどほとんどが常緑樹。昔からのものだから根はがつちり張られ、どんな台風にもびくともしないものばかり。

材結一戸二、三十石のものはザラのようで四季とりどりの葉の色に捨てがたい風情がある。

（写真左）

※

セキリにかかる心配はあつても、まず葉タバコを売る＝というおつかない考えが、さきごろの高中集団セキリ事件にみられた。

伝染、続発を心配した市衛生係が家族検便をやろうと、ある家をたずねたところ「いま検便をやつてもし菌が出たら、葉タバコを收納することができん」とタダをこねられたもので衛生係大いに啓発して検便に踏み切つてもらつた。結果は無菌。

※

市内商店の強敵が市内にあつて、連日なかなかの売り上げ。

これは市役所職員組合の厚生施設で、市役所の中にある。

電気器具、食料品、衣類など〝よろず屋〟さんで市価の二、三割り引。組合員でなくても買える仕組みでまさに好評。

※

最近、こどもたちが〝ブンヤ〟遊びを始めビン玉を弾丸にしてハトまで射つようになつた。

またなきスリル！子らのこころわからぬではないが。止めようとしてもいうことはきかず心配している親たちがふえ始めた。

※

市内の青年学級は最近伸びる一方で大きい教育効果をあげているが、ここにあげる瓶岩の青年高等学院は、かつて高新に取り上げられ各方面の注目のマトとなつた。この地区は山間であるため、青年たちの勉強の場所は小学校に隣接する地区の中央公民館。

ここで毎週夜間、社会、生活、趣味などいまの青年に必要なこと一切が瓶岩小の先生たちの指導によつて学ばれる。

家庭科の勉強では農業や林業にたずさわり、疲れ果てた身で勉強することはなみたいていでないが「自分たちだけが学ぶだけでなく、地域社会の文化向上などにも一役果たす」というモットーで男女共学でやつている。

男子もまじつてむつまじく相談しながら料理や栄養価の高いおかずをつくり、結果はすぐ家庭へ役立てるようにしている。

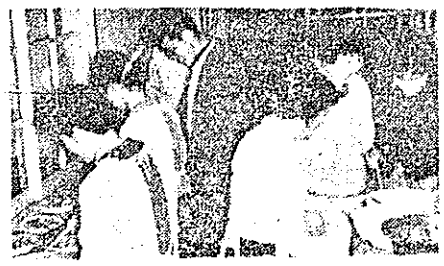
この学級の特色は地域と非常によく結びついていることだ。

学級で得た知識は直ちに家庭やその地域で生かされる。

それはなにかにつけて効果をみせるようになる。

だから青年たちに対する父兄の理解が深く青年たちはなにごとによらず支持されている。

写真右上は学級生の楽しい話合い。下は男女相談し合つてのお料理勉強



広報広告、

広報では限られた経費の造成と、市民や業者の便利をはかるため、広告欄を設けることになりました。

市内各戸に必ず配達されますから効果はかなり大きいと考えられます。

広告内容によつてはのせることができませんが、一応市役所内の広報委員会（電話四五一番）へご連絡下さい。